

令和4年度 いのちの授業 事例集（特別支援学校）【特別活動】

掲載数

5

管轄	学年	教科等	テーマ	内容	参考事項（講師・教材等）
1 神奈川県立	中2	特別活動	防災教育(DIG)	<p>大きな地震が起きた時、どのように自分の身を守ればよいかを考えた。まず学校周辺環境を知るため、地域の地図を見ながら気づいたことを挙げていった。学校の近くに一時避難をする場所やコンビニがあること等、自分が思っている以上に資源があること気づくことができた。</p> <p>後半はDIGの演習を行い、近隣の危険箇所や避難経路を考えた。また地震についての基礎知識や、広域避難場所についてクイズ形式で考えた。学校が広域避難場所に指定されていることを知り、「学校に逃げればいいんだ」とつぶやく生徒もいた。</p>	スライド 学校周辺の地図 ハザードマップ
2 神奈川県立	高2	特別活動	防災について考えよう	<p>防災センターでの体験活動を実施した。事前学習としてスライドショーや写真などを用いて、地震や火災の際に大切なことを確認した。防災センター訪問時には、地震体験や消火体験とともに、昼食を防災保存食とした。学校備蓄食料を持ち込み、実際に準備から食事までを生徒が行った。皿などを用いず工夫しながら食べることもできた。</p> <p>事後学習では、振り返りシートを用い、地震や火災時の避難場所、緊急時にどこへ連絡をするのかなど生徒自身の身近な問題として考えることができた。</p>	防災体験施設 学校備蓄食料
3 神奈川県立	高1	特別活動	防災教育（自助・公助・公助）	<p>防災宿泊学習の事前学習において、災害時に必要となる行動や地域住民との協力・連携、学校の防災倉庫の場所と保管物品などについて学習した。宿泊学習当日は、地域住民と生徒が避難所設置等を行い、自助・公助・共助の大切さを学んだ。また喫食訓練やDIG訓練を行い、いつもの食事との違いを体験したり、災害時にいのちを守るにはどの場所が危なくてどの場所が安全なのかを確認し、自分たちの住んでいる場所の地形を学習したりした。</p>	講師は、さがみはら防災マイスター。
4 神奈川県立	高複合	特別活動	「ともに生きる神奈川憲章」	<p>1学期の終業式で「学校長の話」の一部として、平成28年に発生した「津久井やまゆり園」事件にふれ、19人の大切な命が奪われたことを説明した。</p> <p>その後、その事件をきっかけに神奈川県では、「ともに生きる社会かながわ憲章」が作られたこと、憲章が伝えようとしている内容について簡単に説明を行った。その中で、それぞれの人には両親からもらった「大切な命があること」、そして一人ひとりが「他の人の命はもちろん、自分の命も大切にすること」の重要性について話をした。</p>	全校生徒に対し説明した。（学年枠に全校の選択肢がなかったため選択欄入力なし）
5 神奈川県立	高1	特別活動	食育 「いのちをおいしくいただいてありがとう」	<p>三浦初声高等学校と食育にかかる連携を図り、初声高校生徒が育てた食材を購入させていただき給食で食べるという経験をした。普段は店頭でパックに入ったものを購入し調理したものを食べるが、今の経験を通して食材を大事に育て、おいしく食べてもらうために頑張っている人がいることに気づいた。また、いのちをいただくことが、自分たちのいのちにつながっているということを実感し、「ありがとう」「おいしかった」「ごちそうさまでした」と言葉にすることができた。</p>	三浦初声高等学校で育てた牛が牛井として給食メニューになった。生徒の飼育上のエピソードや写真を教材とし授業を行い、本校生徒の書いた感想などを初声高校に送った。